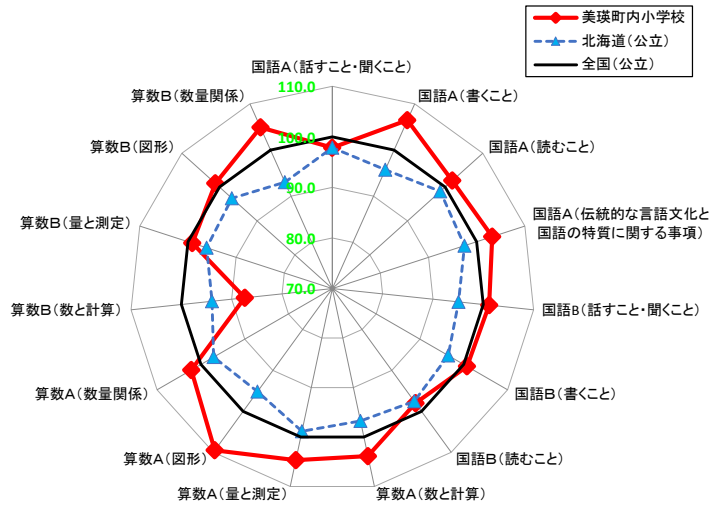


■美瑛町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:4、児童数:80名)

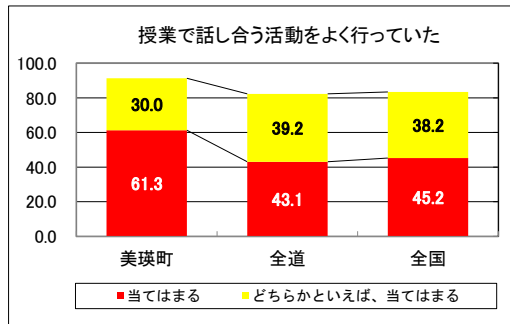
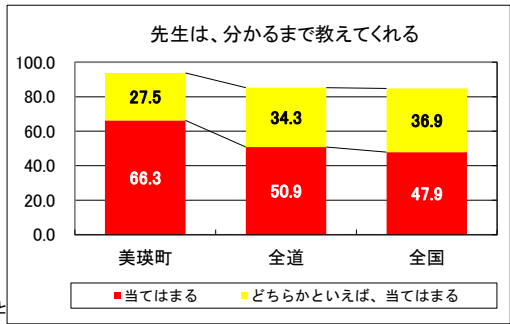
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

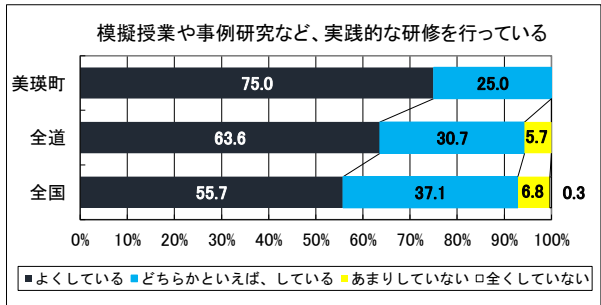
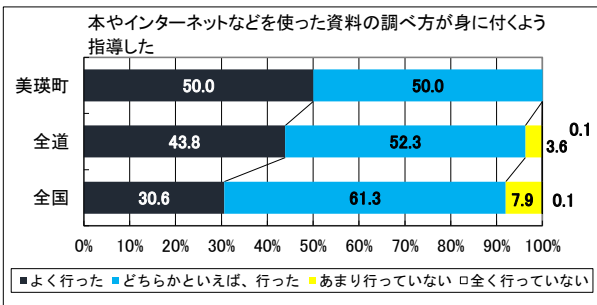
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で、全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、すべての領域、Bでは、「図形」「数量関係」で、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えるなど、個に応じた指導を丁寧に行ったことにより、国語の5領域、算数の6領域で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業において、学級の友達との話し合う活動をよく行ったことにより、国語Bの「話すこと・聞くこと」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くように指導した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実践的な研修を通じた授業改善の取組により、児童に基礎的・基本的な知識・技能が身に付き、国語Aの「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数Aのすべての領域で全国を上回ったと考えられる。

【美瑛町の学力向上策】

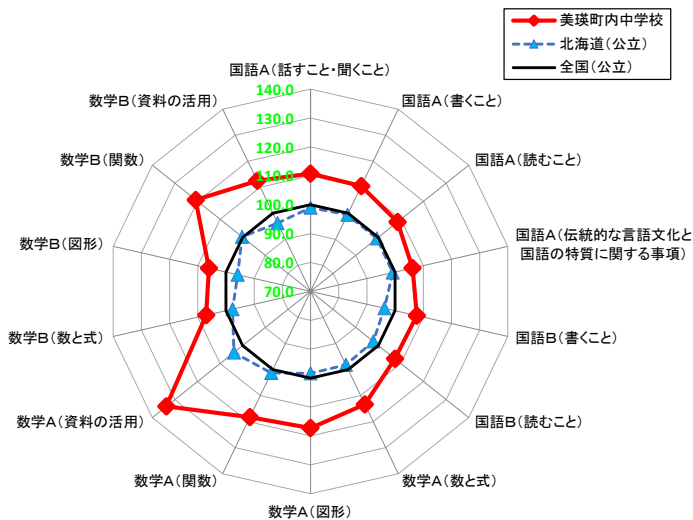
- ◎ 教育指導助手等を活用した個に応じた指導の充実
- ◎ 長期休業中における「学習ルーム」の設置による基礎的な学力の定着を図る指導の充実
- ◎ タブレットや実物投影機などのICT機器の活用による分かりやすく効果的な授業づくりの推進

■美瑛町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3、生徒数:78名)

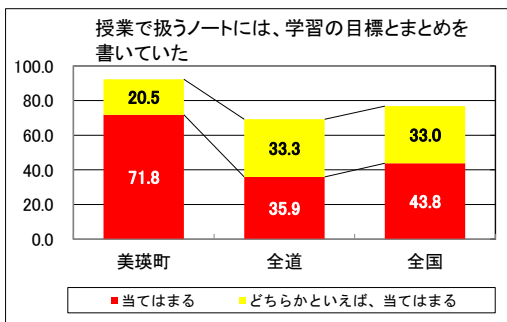
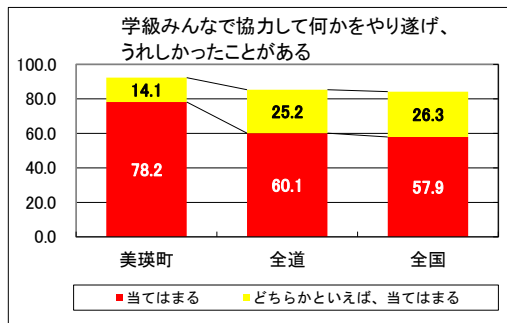
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

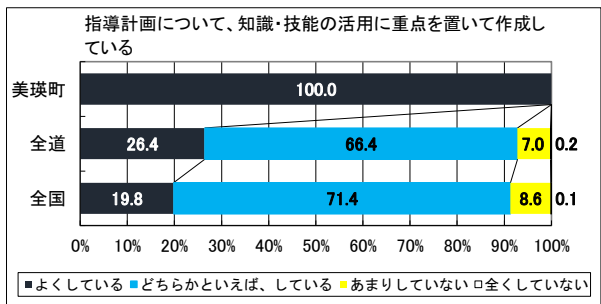
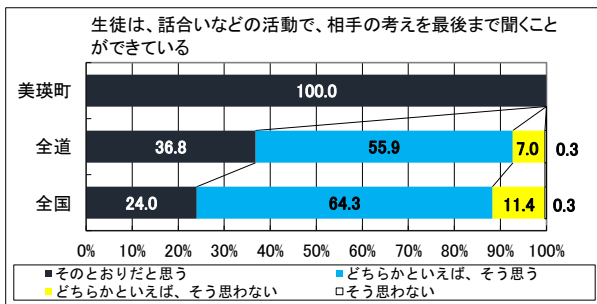
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・Bでは、すべての領域等で、全国を上回っている。 ○ 数学A・Bでは、すべての領域で、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業及び特別活動において、話し合い活動を位置付け、自分の考えを伝えたり、聞いたりする学習を行ったことにより、国語A・Bの「話すこと・聞くこと」が全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業で目標を示し、ノートに学習の目標とまとめを書かせる指導の徹底を図るなど、生徒が主体的に学ぶことができる授業づくりに努めた結果、目的意識をもって話したり聞いたりする能力や、読むことに関する能力が高まり、国語Bのすべての領域で、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができる」と回答している。 ○ すべての学校が、「指導計画について、知識・技能の活用に重点を置いて作成している」と回答している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業において、知識・技能を活用する場面を位置付け実施したことで学習内容の定着が図られ、国語・数学のすべての領域等で、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【美瑛町の学力向上策】

- ◎ 教育指導助手等を活用した個に応じた指導の充実
- ◎ 長期休業中における「学習ルーム」の設置による基礎的な学力の定着を図る指導の充実
- ◎ タブレットや実物投影機などのICT機器の活用による分かりやすく効果的な授業づくりの推進